

## 智光こども園 教育・保育活動に対する学校評価

令和7年度は各自が各項目に自分の目標を立て10月末に中間評価を出し、その後1年を振り返り2月に最終評価を出しました。各項目に園として評価を出しました。評価理由と共に報告いたします。

| 評価項目               | 評価 | 理 由  |
|--------------------|----|--|
| 保育の計画性             | B  | 各学年、年間・月案・週案・日案について話し合い、日々の保育について細かく計画を立てることができた。子どもが主体的に遊ぶことができる環境づくりについて、工夫していきたい。                               |
| 保育のあり方<br>幼児への対応   | B  | 個々の子どもの事を考え配慮して接する努力はしている。子どもの発達に応じた対応や、子どもの良いところを伸ばすような心がけをしていきたい。  |
| 教師としての資<br>質・能力・適正 | B  | 教職員は資質・能力を備えているが十分に発揮されず、組織として機能しきれていない部分が見られた。自主的な学びの姿勢を生かし、研修の成果を日々の実践へつなげ、組織全体の力にしていくことが課題である。                  |
| 保護者への対応            | C  | 保護者との信頼関係をしっかりと築き、丁寧な対応を心掛けていかなければならない。子どもの成長を保護者と共に喜び合えるよう、誰もが丁寧に対応することを今後も心掛けていきたい。                              |
| 地域との自然や<br>社会との関わり | B  | 今年度も地域の自然に触れ合う機会を持て良かった。報徳社など、近隣の施設や地域とのかかわりも大切にし、社会との関わる体験をしていきたい。自然に関わることを通し、製作や活動に様々な工夫が出てきたので今後も続けていきたい。       |
| 研修と研究              | A  | 研修については職員一人ひとりが目的意識をしっかりと持ち参加できたのではないかと考える。前述した通り、得たものを同保育に還元していくのかをしっかりと考え、保育の質の向上に役立てたい。<br>来年度も、また継続して努力していきたい。 |

Aー十分達成されている

Bーほぼ達成されている

Cー取組まれているが、成果が十分でない

Dー取り組みが不十分である

来年度も年度当初に自己目標を設定し、半年ごとに振り返り日々の保育を進めていきたいと思っております。これかも常に丁寧な保育、こども園運営を心掛けていきたいと思っております。